

# 和らぎ苑

- もくじ
1. 四天王寺和らぎ苑開設 20 周年記念 Web 講演会
  2. 取組 NOW
  3. 新入職員さんこんにち和

## 「四天王寺和らぎ苑開設 20 周年記念連続 Web 講演会」

四天王寺和らぎ苑は、2021 年 4 月に開設 20 周年を迎えました。これを記念して開設 20 周年記念連続 Web 講演会を開催いたしました。講演会は全 6 回、いずれも 500 回線、600 人を超える多くの方々にご視聴いただき深く感謝いたします。講演会は、「次の 10 年、私たちが目指す支援を求めて」をテーマに開催いたしました。

この 20 年、障害の概念が変わりました。すなわち、和らぎ苑の誕生と時を同じくして、2001 年 5 月に世界保健機関 WHO で国際生活機能分類 ICF が採択されました。この ICF は、障害が一元的に能力障害、さらに社会的不利につながるとした従来の概念から、障害は、心身機能・身体構造のみによるものではなく、活動と参加（暮らし、生きがい）といった「生活機能」が制限される状態とし、これは周囲の環境によって作られるため、社会環境を変えることが障害をなくすことにつながるの考えであります。

これにより障害の概念は大きく変わり、私たちの支援のあり方の大きな道標となりました。さらに私たちは今、全ての小児期に発症した障害のあるの方々に対して、ICF に基づいた因子を「6 つの F」心身機能 Fitness、活動 Function、参加 Friends、環境因子・家庭 Family、個人因子・楽しみ Fun そして未来 Future (Rosenbaum, 2012) として掲げ、大切にし、支援していきたいと考えています。

これを受けてこの度、障がいある子たちを支えておられるわが国を代表する先生方に「6 つの F」をテーマにご講演をお願いし、実現しました。

はじめに日本重症心身障害福祉協会理事長であり堺市立重症心身障害者（児）支援センターベルデさかいセンター長児玉和夫先生から「Function 機能」について、意思決定支援というテーマでお話いただきました。次に子どもたちの活動への原動力「Fun 楽しみ」を、びわこ学園医療福祉センター草津の高塩純一先生。子どもを支え育む「Family 家族」をあおぞら診療所ほっこり仙台院長の田中総一郎先生。「Fitness 心身機能」を大阪発達総合療育センター・南大阪小児リハビリテーション病院副院長 竹本 潔先生に、つながり、コミュニケーション「Friends 友だち」を島田療育センターはちおうじ所長 小沢 浩先生からご講演いただき、自立と自己実現に向けて「Future 未来」を私が担当しました。

この連続講演会を受けて、職員による記念実践報告会が開催され、「6 つの F」に込められた意味を理解し、それぞれの「F」を実践した発表がありました。和らぎ苑の次の 10 年に向けての職員のおもいが伝わり、和らぎ苑にとって意義深い講演会となりました。次の 10 年も、私たちの目標は利用者さんの笑顔です。

施設長 塩川 智司



# 取組 NOW!!

1年ぶりの取組 NOW です。突然ですが皆さんは当法人主催の改善報告会・実践セミナーをご存じでしょうか。改善報告会・実践セミナーは四天王寺福祉事業団の取り組みとして毎年開催しています。法人内それぞれの事業を通じて、ご利用者の方々と共に成長、発展できた成果を改善報告会で発表します。その発表内容を大学の講師の方々に評価して頂きます。たくさんある改善報告はどれも素晴らしい物なのですが、その中で特に評価が高かった5つの改善報告をより多くの方々と共有できるように実践セミナーとして法人内外に発表します。今回は2階と3階でどのように改善報告の取り組みを行ったのかアンケート形式にてご紹介します。

## 2階

テーマ  
「個別性・ストレングスに  
着目した利用者支援」

藤井  
亮  
支援員



福吉  
将之  
支援員

アンケートに答えて頂いたのはこちらの方々⇒



今回の取り組んだテーマと選定理由を教えてください。

当施設のご利用者は障害特性や個性も様々で言葉よりも表情や仕草で意思表示を行う方が大半を占めており、本人の口から意思を伝えることが難しく、これまではご家族からの意見を参考に職員が個別支援計画を立てていました。しかし、ご利用者本人の意思、個性、本人の強み（ストレングス）が本当に尊重され、反映された計画になっているのかを改めて考え今回、2階ではご利用者2名を対象に「個別性・ストレングスに着目した利用者支援」というテーマで取り組みを行いました。



取り組んだ際に苦労した事を教えてください。

取り組みを行う中で表情の変化だけでは本人のストレングスを活用できているか、意欲的に取り組んでいるか、活動を楽しんでいるか、を読み取ることが難しかったです。しかし、活動時のしぐさや様子からそれらが読み取れることに気づきました。

また、ご利用者からあまり良い反応を得られないこともしばしばありました。ご利用者の健康状態や職員のアプローチの方法もご利用者の反応に大きく関係し、どのような環境設定をし、アプローチを行えばご利用者が意欲的に、楽しく活動に取り組めるか、試行錯誤し実践するのが大変でした。



取り組んで良かった事を教えてください。

開始当初は、活動に対して消極的な場面もありましたが、徐々に理解を示してくれるようになり、ご利用者自身で積極的に取り組む場面が増えました。ご利用者に寄り添い、継続することが本人の意欲や楽しみに繋がるのだと改めて感じました。

また、活動を通してご利用者の新たな一面も知ることが出来ました。今回の取り組みで得られた経験は今後の支援にも活かしていきたいと思えます。

# 3 階

## テーマ

グループ別レクリエーションを通して

～ご利用者の笑顔を引き出し、強みを伸ばそう！～

アンケートに答えて頂いたのはこちらの方々⇒

左から 村岡 夏希 支援員 長谷 明登貴 支援員 小松 由佳 支援員



今回の取り組んだテーマと選定理由を教えてください。

まずは、3階フロアの現状を把握するために、“ご利用者満足を目指すために今何が足りないのか、何に取り組むべきなのか”等の意見を、アンケートを実施して、職員全員から聴取し、テーマ選定を行いました。

意見の中から“グループ別レクリエーション”を選定しました。その背景として、これまで、全体レクリエーションと個別療育の2つの活動を実施していましたが、フロアの現状として人員不足が挙げられる中、これらの活動の実施率低下が課題でした。フロアと活動の現状を照らし合わせると、一対一の活動ではなく、複数人のご利用者に対し、2～3人の職員で活動を実施することと、尚且つ個々の目的を活かした活動が必要であると考えました。そこで、全体レクリエーションと個別療育の要素を兼ね備えた新たな活動として、“グループ別レクリエーション”を取り入れることとし、2ヶ年計画のテーマとして、「グループ別レクリエーションを通して ～ご利用者の笑顔を引き出し、強みを伸ばそう！～」に選定しました。



取り組んで良かった事を教えてください。

複数人のご利用者と活動を実施することにより、他ご利用者を意識しているような様子もみられ、新たな反応を見出すことができました。また、他職種連携を図り、共に活動を実施したことにより、ご利用者の特性等の情報共有を密に行うことが可能になったことに加え、活動のアイディアも増え、賑やかで楽しい雰囲気での活動を実施することができるようになったと思います。



取り組んだ際に苦労した事を教えてください。

評価基準や活動方法等、従来の活動とは全く異なる活動であったので、全職員に理解して頂くことができるよう、マニュアルを作成したり、随時説明を行ったりと、試行錯誤していたことです。また、メンバーが中心となって、療法士や心理士、看護師と連携を図り、調和を保つことにも努力したことです。

2階の藤井支援員、福吉支援員。3階の村岡支援員、長谷支援員、小松支援員の皆さんご回答頂きありがとうございました。

法人の実践セミナーに興味を持たれた方は四天王寺福祉事業団のホームページにて随時紹介する予定なのでチェックしてみてくださいね。

これからも和らぎ苑が「NOW！」で取り組んでいるところをご紹介しますと思います。

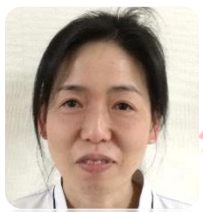
# 新入職員さん こんにちは Part 1

四天王寺和らぎ苑へ入職された皆様をご紹介したいと思います。①特技、②今ハマっていること、③一言お願いします！という内容でインタビューしました。それではどうぞ！



古川 誠子

- ①早起き
- ②ジョギング
- ③利用者様が楽しく豊かな生活が送れるように支援していきたいです。



景山 和佳子

- ①どこでも寝れる
- ②昔：映画鑑賞・・・現在：ポーっとする事
- ③分からないことは先輩に確認し、利用者様の為に頑張りたいと思いますので、宜しくお願いします。



海老原 亜希子

- ①キャラ弁づくり
- ②ウォーキング
- ③日々勉強で、皆様に快適で笑顔多くすごしていただけるよう尽力してまいります。よろしくお願いします。



杉本 教江

- ①うまくないのに、なぜかカラオケで良い点が出る時がある。
- ②子ども達と夜な夜なスプラトゥーンでネット対戦をする事。
- ③ゆっくり話す事（自分がゆっくり話すと相手もゆっくり話してくれる気がする・・・と教えてもらったので）



鎌田 順子

- ①手作りアクセサリー等の小物を作るのが好きです。
- ②色々なカラーマスクをつい集めてしまします。
- ③ご利用者様とご家族やスタッフの皆さんと楽しくコミュニケーションがとれるようになったらいいなと思います。あと伊予（愛媛）弁を広めたいです。



東筋 彩香

- ①早く歩くこと
- ②パン作り
- ③一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。



山岡 梓

- ①キャンプ
- ②マリオカート
- ③ご利用者様やご家族様の気持ちに寄り添うことができる感性を磨き、看護を実践していきたいです！よろしくお願いいたします。



松原 多香子

- ①特にありません。
- ②YouTube を見る事。
- ③訪問看護は初めての経験になりますが、利用者のために頑張ります！

発行者：四天王寺和らぎ苑広報委員会

ホームページ

〒584-0082 富田林市向陽台 1-3-21

Tel : 0721-29-0836(代) Fax : 072-29-3916